※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」　（大修館書店）						
副教材等	意味と書き分けがわかる漢字 Lab3500（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理的に考える力や、言葉を通して自分の思いや考えを他者に伝えたり、受け取ったりする力を身につけてください。
・話し合いや論述を通して「話すこと・聞くこと」「書くこと」の楽しさを身に着けてください。
・授業を通して言葉の持つ力や読書の楽しさを知ってください。
・予習復習の課題を出します。必ず取り組んでください。
・提出物の期限は必ず守りましょう。定期テストは学習計画を立てて臨むようにしてください。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識と技能を身につける
・他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたりすることができるようにする。
・言葉が持つ価値の認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、わが国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。 ［教材］ 「考える技術――考えさせない時代に抗して」野矢茂樹 「伝える・伝え合う」	a：相手や目的に応じて表現の違いがあることを理解し、表現することができる。 b[書]：「書くこと」において、自分の考えが相手にしっかりと伝わるよう、文体、語句などの表現のしかたが工夫できる。 c：言葉やコミュニケーションに対して興味を持とうとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	叙述を的確にとらえる。 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 ［教材］ 「水の東西」山崎正和	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開や叙述をもとに、要旨や要点を把握することができる。 c：対比の関係をとらえることに意欲を持ち、文章の要点をとらえようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	話し言葉の特徴を知る。 聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。 ［教材］ 「伝わるように話す」	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意や親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、表現することができる。 b[話/聞]：「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をとらえることができている。状況に応じて情報のまとまりや順序を考えて相手に伝わる表現を工夫することができる。 c：話しことばの特徴に関心を持ち、聞き手が理解しやすい表現をしようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。 ［教材］ 「わかりやすく書く」	a：話し言葉と書き言葉の違いを理解し、書き言葉の表現の特色をふまえ、場に応じた表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 b[書]：「書くこと」において、相手や目的に応じて情報を整理してわかりやすく表現するとともに、文体や語句などの表現に工夫することができる。 c：相手に正確に伝わるように表現しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	他者と意見を交換し、アイディアを出し合う。 アイディアを整理し、さらに発想を広げる。 ［教材］ 「発想を広げる」	a：場に応じた言葉遣いや表現を使うことができる。 b[話/聞]：「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを深めたり広めたりすることができる。 c：他者と積極的に交流し、考えを深め、広めようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。	a：書き言葉において、適切な語句や表現を使って書くことができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「意見を書く」	b[書]:「書くこと」において、根拠を相手にわかりやすい形に整理して、構成や展開に注意して書くことができる。 c:文章の構成や論理の展開を意識し、根拠を明確にして意見を書こうとしている。			
	主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。 ［教材］ 「自 然と人間の関係をとおして考える」内山節	a:主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c:論理的文章を読むことに興味を持ち、論理関係を意識して読もうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
2	相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。 ［教材］ 「工夫して話す」	a:話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意や親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、表現することができる。 b[話/聞]:「話すこと聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話し、相手の理解が得られるように表現できている。 c:聞き手を意識し、表現などを工夫しようとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 振り返りシート
	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 ［教材］ 「「安くておいしい国」の限界」小熊英二	a:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができている。 c:資料と文章の関係を読み取ることに興味を持とうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	通信文の基本的なルールを知る。 相手や場面に応じた通信文を書けるようにする。 ［教材］ 「状況に応じた通信文を書く」	a:書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意や親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、表現することができる。 b[書]:「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫することができている。 c:通信文の基本的なルールを知ることに興味を持ち、相手や状況に応じた通信文を書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
3	複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 ［教材］ 「空気を読む」香山リカ 「「個人」から「分人」へ」平野啓一郎	a:主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読]:「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開などを評価するとともに、自分の考えを深めることができている。 c:複数の文章を比較して読むことに興味を持ち、共通点や相違点をとらえようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	提案を検討する際に必要な要素を押さえる。 効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。 ［教材］ 「説得力のある資料をつくる」	a：話し言葉や書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]：「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明しかたを考えるとともに、文章の種類や、文体や語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c：企画書を書くことに興味を持ち、効果的な表現や資料の提示の仕方を工夫して書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	討論の流れと司会者・参加者それぞれの役割を理解する。 自分の考えが伝わるよう、論理の流れに注意して発言する。 話し手の論理の展開や表現の仕方をとらえ、評価する。 ［教材］ 討論をする	a：その場に応じた言葉遣いや、語句、表現などを使うことができている。 b[話/聞]：「話すこと・聞くこと」について、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いのしかたや結論の出し方を工夫できている。 c：討論に意欲的に参加し、自分の役割や論理の流れを意識しながら発言している。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察
	適切な情報を集め、問いをたてる。 調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。 ［教材］ レポートを書く	a：文。語、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 b[書]：「書くこと」において、読み手の理解が得られるように論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができている。 c:積極的に情報を集め、レポートを書く活動に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間